

核兵器全面禁止 のアピール

速報 No.2
2011年2月17日

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03 - 5842 - 6031
FAX：03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com



内外の大きな賛同で新署名スタート！



安井事務局長（広島）



土田事務局次長（右端、長崎）

日本原水協は15日、広島、長崎、東京で同時に「核兵器全面禁止のアピール」署名を発表するスタート集会を行いました。安井正和事務局長、土田弥生事務局次長、高草木博代表理事がそれぞれ広島、長崎、東京で新署名「核兵器全面禁止のアピール」を発表しました。パン・ギムン国連事務総長のメッセージが読み上げられ、国内外の賛同者が紹介されました。

広島集会では、広島市内と県内各地をはじめ、岡山、福井などから90人が参加。報道陣も含めれば100人を超え、資料もイスも足りなくなるほどの盛況ぶり。核兵器をなくしたいという被爆者や市民の熱い思いが新しい署名運動への期待となって集会に反映しました。

長崎集会には、140人が参加しました。集会では、（昨年5月のNPT〈核不拡散条約〉再検討会議以後の行動をどうするのかという点で）この時期にいち早く日本原水協が全面禁止のイニシアチブを取ってくれたことが良かったと口々に語られました。集会後は、ランタンフェスティバルが行われている繁華街に出てさっそく署名行動。高校生や若い人からもたくさん署名が寄せられ、参加者一同「みんなが待ち望んでいた署名だ」と確信を持っていました。

地域ぐるみの署名を全国へ すべての原水協からビキニデー代表を



同時発表の最後を務めた東京集会は、150部用意した資料が足りなくなるほどの盛況ぶり。広島市の平和公園にある「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんのお兄さんの息子である佐々木祐滋さんによる歌「INORI」や、俳優座の有馬理恵さんによる原爆詩「慟哭」の朗読、プロボクシング元日本ウェルター級チャンピオン小林秀一さんによるパフォーマンス、全国各地の署名行動スライドショーなど盛りだくさんの内容に、参加者からは「元気をもらった」「ワクワクした」と感想が語られました。

この日に呼応して全国各地で行われた署名行動は、「原水協通信」ブログで紹介しています。

3・1ビキニデーに大きな期待

3・1ビキニデー集会に11人の代表を送る東京・渋谷原水協の植田純一事務局長は、昨年の原水爆禁止世界大会に30人の代表を送ったことで、地域に核兵器廃絶の思いが根強くあることを実感したといいます。そこで、東京原水協が発行する資料を持って加盟労働組合を中心に5～6回足を運びました。先輩から「1～2回はうんうんと聞いてくれるが流される、3～4回はイヤな顔をされる、5～6回で重い腰が動き出す」と聞いていたからです。「核兵器廃絶の課題は、同じ要求でつながれるし、その中で団結権、団体行動権、団体交渉権という労働三権を行使する人を増やしていけたら」と植田事務局長は話しています。

渋谷原水協から11人参加

ブログもチェック!

★署名用紙、チラシ、発表文、内外からの賛同者リストは、
<http://www.antiatom.org/Gpress/?p=2382> にアップしています。

★『原水協通信』ブログでオンライン署名もできます。(パソコンからのみ)

<http://www.antiatom.org/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=SigCam-J>

潘基文（パン・ギムン）国連事務総長の特別メッセージ

核兵器禁止条約の交渉開始を求める新たなキャンペーンを開始するために広島、長崎、東京にお集まりのすべてのみなさんにあいさつを送ることができることを嬉しく思います。

私は、みなさんのご努力を全面的に支持いたします。多国間の軍縮交渉の歴史は、市民が政府の行動を要求して声を上げることの重要性を示しています。

みなさんのキャンペーンは、ロシア連邦・米国間の新戦略核兵器削減条約（新 START）の発効、2010年核不拡散条約（NPT）再検討会議の成功裏の結論など、最近の一連の重要な発展があるなかでとりわけ、時宜を得たものとなっています。私たちはこの勢いを全力をあげて推し進めなければなりません。

昨年8月、私は広島の被爆65年平和記念式典に出席しました。その訪問は、私の人生でもっとも感動的で忘れることのできない経験となりました。広島と長崎でお会いした多くの被爆者の勇気と不屈の精神を前に謙虚な気持ちとなり、励まされもしました。被爆者の体験を聞き、私は、核兵器のない世界を実現するために持てるすべての力を発揮すべきとの確信を強めました。

2008年10月、私は5項目の核軍縮提案を発表し、核兵器禁止条約の提案を支持することを含め、核兵器廃絶の実際的な道筋を提示しました。ノーベル平和賞受賞者が最近、広島でのサミットでこの提案への強い支持を表明したと聞き、励まされています。

私は、人々がいたるところでみなさんのよびかけに署名し、そうすることによって高まる交渉開始を！の合唱に、自らの声を合わせていくことを願っています。やがて私たちは世界から核兵器を一掃します。そして、私たちがそれを成し遂げるとき、それはみなさんのような人々のおかげなのです。みなさんのキャンペーンが大きな成功を収めることを切望するものです。